

第二十條 故ナク第十三條ニ規定スル出席説明又ハ説明書類ノ  
提示ヲ爲ササル者ハ五十円以下ノ科料ニ処ス  
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ  
科料ニ之ヲ準用ス

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百円以下ノ罰金ニ處  
ス

- 一、第十三條ノ場合ニ於テ虚偽ノ説明ヲ爲シタル者
- 二、故ナク第十四條ノ規定ニ依ル立入、視察ヲ拒ミ若ハ  
之ヲ妨ケ又ハ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳  
述ヲ爲シタル者

三、第十五條ノ規定ニ違反シタル者

第二十二條 第十九條ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ禁錮又  
ハ二百円以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

大正十五年六月三日  
勅令第百九十六號

### 勞働争議調停法施行令

第一條 勞働争議調停法及本令ニ依ル行政官廳ノ職務ハ争議  
ノ發生シタル作業所所在地ノ地方長官（東京府ニ在リテハ  
警視總監以下之ニ同シ）之ヲ行フ

同一ノ争議カ前項ノ規定ニ依リニ以上ノ地方長官ノ管轄ニ  
涉ルトキハ内務大臣ハ其一ヲ指定シテ前項ノ職務ヲ行ハシ  
ムルコトヲ得

第二條 内務大臣必要アリト認ムルトキハ前條ニ規定スル行  
政官廳以外ノ行政官廳ヲ指定シテ前條第一項ノ職務ヲ行ハ  
シメ又ハ自ら之ヲ行フコトヲ得

但シ内務大臣其ノ指揮監督ノ下ニ在ラサル行政官廳ヲ指定  
セムトスルトキハ豫メ其ノ所管大臣ト協議スルコトヲ要ス

第三條 第一條ニ於テ地方長官トアルハ船隻法ノ適用アル船